

今日は、11月11日である。あれから1年が経過したことになる。

1年前の令和1（元）年11月11日に「校長室だより～燦燦～No.1」が本校ホームページに掲載された。タイトルは「梁川高校燦燦と」である。そこには、なぜ私が、この校長室だよりの取り組みを始めたのかが書かれてある。

文面の最後には「今日は偶然にも11月11日である。何か新しいことを始めるにはいい日なのかもしれない」などとある。必ず毎日出す、いつまで続けるという明確なものがあつたわけではない。書きたいことがあるため、自然と月曜日から金曜日まで毎日綴るようになった。

1年前に始めた頃、本校ホームページには、生徒数100名ほどのところ、平均して毎日200から300のアクセスがあつた。現在はというと、300が400に増え、500から600になり、700を超え、今では800から1000ほどで推移している。その間、突発的に1300や1400になる日があつた。

理由がわかっている日がある。8月19日（水）である。前日の8月18日（火）は梁川高校の2学期がスタートした日だった。県内公立高校のトップを切つてのスタートであつたため、テレビ局の取材が入つたのである。その日の昼と夕方に放映された。そのため、翌日の8月19日（水）のアクセス数は1400を超えた。

その他の突発的に増えた日の原因はわからない。新型コロナウイルス感染症対策関連のことを何度も掲載した時期があつた。毎月、月行事予定がアップされる日がある。中学3年生向けに学校紹介のことを載せたこともあつた。いずれもアクセス数が増えたのは確かだが、突発的な数字というほどではない。

アクセス数は、平日よりも週末の土日や夏休み中に一気に増える傾向にある。このようなことを書いていると、毎日毎日アクセス数を気にしているように思われるかもしれない。最初は確認もしていなかった。ところが、知り合いの校長先生が、この校長室だよりを読んでくださり、アクセス数もチェックしてくださるのである。そのため、私も自然と確認するようになった。

アクセス数が、そのまま校長室だよりの読者とは限らない。お恥ずかしい話だが、本校のホームページを毎日開くと、変化が見られるのは校長室だよりのアップだけの場合が多かつた。校長室だよりを毎日アップすることで、アクセス数が増えていくことはわかつた。そこで、私の目論見としては、行事を中心として生徒の様子などをブログのようにしてアップすることで、本校のことを理解してもらはずであつた。他の高校や中学校、小学校では、そういった取り組みをしているところもある。写真がアップされると、活動の様子が生き生きと伝わってくる。

臨時休業が続いたりして、ここ最近まで軌道に乗せることができずにいた。しかし、ここにきて、ようやく態勢が整い動き出すことができた。アクセス数が200の頃は、200人の方々を意識しながら原稿をつくっていた。今では1000という数字を意識しながら作成している。さほど変わるわけではないが、責任感ややりがいが増しているのは確かである。

また、毎号ではないのだが、一人の方を思い浮かべて原稿をつくることもある。一人を対象にした方が、内容がよくなることがある。これは講演など、大勢の前で話すときも同じである。目の前にいるたった一人のために話すのである。

たまに、意外なところから、「毎日読んでいます」という反応があつたりする。ホームページの威力は侮れない。「校長室だより～燦燦～」は、明日から2年目に入る。今まで通り、気負わず、自己研鑽のつもりで、多くの読者の方々を意識しながら、ときにはたった一人のために書き綴っていきたい。